

1. 学力向上を図るための全体計画

教育目標 自らを律し、自分の生き方を創造することのできる人間性豊かな生徒の育成をめす。

- よく考え、知性を磨く生徒
- 協力し合い、思いやりのある生徒
- 健康で心身をきたえ合う生徒
- 自ら実践し、創造する生徒



学校経営6つの柱より（学力向上にかかわる柱）

- 1 授業の工夫・改善につとめる学校
- 2 生徒を生かし、大切にし、一人ひとりが輝く学校
- 4 研修を大切にする学校
- 6 家庭や地域社会に信頼される学校



多摩永山中学校における「身に付けたい学力」の定着を図るための方策

- 1 教育課程の工夫・改善を図る。**
 - 年間授業時数を確保する。
 - 指導計画、単元計画、評価計画、評価規準をわかりやすく明確に提示する。
 - 個に応じた指導を充実する。
 - 事前体験、生活体験、社会体験などを教育活動の中に取り入れる。
 - 生徒一人ひとりがどこかで活躍できる場を持たせる教育活動を実践する。
- 2 確かな学力の定着をめざす。**
 - 確率された授業規律を定着させる。
 - 少人数指導、習熟度別指導を充実させる。
 - ドリル、段階別の小テスト、繰り返し学習、復習テスト等を積極的に導入する。
 - テスト前、長期休業中等に学習・質問教室を実施する。
 - 学習意識調査の実施による教育活動の改善を行う。
- 3 保護者・地域とともに歩む学校をめざし、さらに開かれた学校作りを推進する。**
 - 学校の教育活動の公開、保護者による学校評価の実施による教育活動の改善を行う。
 - 学校を公開するとともに、積極的な情報発信を行う。
 - PTA活動に積極的に参加し、連携を図る。
 - 地域行事への参加と地域の人材活用を推進する。
- 4 教師の資質・能力の向上を図る。**
 - 校内研修会の改善・充実を推進する。
 - 週ごとの指導計画による授業計画と評価及び改善を行う。
 - 新学習指導要領の完全実施へ向けて、協力的な実践体制を図る。



本校の授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫	評価活動の工夫	指導内容。指導方法の工夫	校内における研究や研修の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ○年間授業時数の確保 ○基礎学力定着を目指した朝学習(朝読書)の実施 ○学校評価における外部評価の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○週ごとの指導計画の活用 ○学習意識調査、評価計画、評価規準の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ○少人数授業、TTの実施 ○コンピュータ室や図書室の有効活用 ○ピア・ティーチャー、図書館司書との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○日常の授業実践に生かせる研究授業や研修会の実施 ○生徒による学習意識調査を生かした授業の展開

2. 教科の課題の分析と改善策

国語 内容および観点別の分析					
観点	国語への関心 ・意欲・態度	書く能力	読む能力	話す能力	言語についての知識・理解
到達度	ほぼ満足できる	ほぼ満足できる	やや不十分である	ほぼ満足できる	ほぼ満足できる
課題点	一部の国語を苦手とする生徒へ、興味・関心を高める授業の工夫を継続していく必要がある。	自分の考えを正確に相手に伝える方法を身につけさせる。聞く態度を養う。	書く能力を高める授業を継続的にする。	様々な文章を読ませ、内容を理解する力を身につけさせる。	さらなる国語力を高めるためには、語彙力の広がり育てていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・表現力を身につけさせるため、言語活動の充実を図っていく必要がある。 ・主体的な学びの姿勢を、興味・関心を高めることによって育てる必要がある。 					
【改善策】 <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動について、繰り返し学習し、その後テストを行う等の指導を引き続き実施し、定着を図っていく。 ・文章の構成や展開の仕方を、繰り返し丁寧に指導していく。 ・教材の工夫や補習授業の充実により、興味・関心を高めていく。 ・募集作文等を知らせ、発展的な学習へと結びつける。 			【補充・発展指導】 <ul style="list-style-type: none"> ・長期休業中に既習事項の復習を中心とした補習・発展授業を行う。 ・定期テストの前に、質問教室を実施する。 ・朝学習を利用して、基本的な知識の定着を図る。 		

社会 内容および観点別の分析				
観点	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	資料活用の技能・表現	社会的事象についての知識・理解
到達度	十分に満足できる	やや不十分である	ほぼ満足できる	ほぼ満足できる
課題点	全体的に関心は高いが問題を解く意欲を更に向上させたい。	自分の意見や考えをまとめたり、発表したりする時間を確保していきたい。	地図やグラフ、絵や写真から適切な内容を読み取る力を更に高めていきたい。	社会科としての学習の仕方を工夫する姿勢を養う。
社会科として時事的な内容も取り入れながら、身の回りの事象を学習と結びつけて、持続可能な発展に根ざした指導をしていく必要がある。				
【改善策】 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート等を通して、問題演習の機会を増やしていく。 ・視聴覚教材をより充実させ、資料活用の技能・表現力を高める。 ・長期期間中の課題（調べ学習・課題作文・自由研究等）を通して、資料活用の技能や思考・判断・表現力を高める工夫をする。 			【補充・発展指導】 <ul style="list-style-type: none"> ・長期休業中に学習教室を開き、個に応じた補充・発展指導を行う。 ・定期テストの前に、質問教室を実施する。 ・朝学習を活用して、基礎的知識の定着。 ・時事問題への関心を高めるための指導を行う。（3年） 	

数学 内容および観点別の分析				
観点	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理	数学・図形などについての知識・理解
到達度	ほぼ満足できる	やや不十分	ほぼ満足できる	ほぼ満足できる
課題点	あきらめず継続して考え抜く力を育成する。	規則性を見いだす力、論理的に考える力を育成する。	分数や小数の混じった計算をする力を育成する。	用語の意味をしっかりと理解することが課題である。
数と式、数量関係では、式の計算、方程式を解くことはよくできるが、応用問題など見方・考え方を問う問題を苦手とする傾向がある。				
【改善策】 <ul style="list-style-type: none"> ・少人数学級による授業を引き続き進めるとともに、状況によりピアティーチャーの支援を加え、個々への対応を充実させる。 ・家庭学習の設定の仕方の工夫。 ・授業の中で、じっくりと考え、答えを出す機会を増やす。 			【補充・発展指導】 <ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業中に学習教室を実施。 ・定期テスト前に質問教室を実施。 ・朝学習を利用し、基礎基本を定着させる 	

理科 内容および観点別の分析				
観点	自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考	観察・実験の技能・表現	自然事象についての知識・理解
到達度	ほぼ満足できる	やや不十分である	ほぼ満足できる。	ほぼ満足できる
課題点	身近な自然事象の具体例を挙げることで科学を身近なものとして捉えるよう指導したい。	実験の目的をしっかりとらえ、実験計画を立て、予想し、その結果を分析していく力が不足している。	実験の個別化や実技テストなどで、自分の力で実験することの喜びを伝えたい。	理解できている生徒と出来ない生徒の二極化が進んでしまった。
<ul style="list-style-type: none"> ・実験で受動的な面も見られるので、意欲的に主体的に取り組む姿勢を育て、体験に基づく知識の定着をはかりたい。 ・一度理解したことを応用して自然現象を分析・理解する力を身につける必要を感じる。 				
【改善策】 <ul style="list-style-type: none"> ・実生活と結びついた知識を得ることで、科学への関心を高めていく。 ・自ら実験計画をつくり、仮説を立て、それを確認する展開をすることで目標をもって主体的に実験に取り組む態度をつくる。 ・実験の考察の際にグループ討議を取り入れ考察の質を高めると共に、自分の力でまとめる力を育てたい。 ・少人数やTT授業を活用し個々に話しかけ自信を持たせる授業を展開する。 			【補充・発展指導】 <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みなどに補習を行い、演習問題を通じて理解を深める。 ・テスト前の放課後に質問教室を実施する。 	

外国語（英語） 内容および観点別の分析				
観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
到達度	満足できる	不十分である	ほぼ満足できる	ほぼ満足できる
課題点	ペアワークや会話練習にさらに積極的に取り組ませていくことが課題である。	学年が進むにつれ書くこと・話すことに苦手意識を持つ生徒が増えている。基本から丁寧に組み立てることと意欲を失わせないことが課題である。	聞くことに関してはほぼ満足できる状態だが、まとまった文を読み取ることが苦手とする生徒が見られる。	基礎となる語彙練習や文法事項の指導の充実をさらに図るとともに、繰り返し学習する機会を作っていく。
積極的に授業に取り組もうとする生徒が多く、発声の声もしっかり出ている。書くことに対する苦手意識を少なくできるよう基礎基本に戻り丁寧な指導を今後も継続していく。				
【改善策】 ・ペアリング コラトなどの実施を通してなど、語彙の定着を図る。 ・英作文など自己表現の機会を増やしていく。 ・レッスンのまとめを行いながら、不十分な生徒には補充学習などで力を養っていく。			【補充・発展指導】 ・朝学習を利用して、基礎基本の定着を図る ・長期休業中や定期テストの前に質問教室を実施する。	

音楽 内容および観点別の分析				
観点	音楽への 関心・意欲・態度	音楽的な 感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
到達度	ほぼ満足できる	やや不十分である	ほぼ満足できる	ほぼ満足できる
課題点	全体的には、やる気があるが、もっと積極性が出てくると良い。授業の雰囲気を変えてくると思うので、明るさを大切にしていきたい。	積極性がでてくると表現をしやすくなってくると思う。また表現の工夫ができるようアドバイス方法を工夫していく。	歌のテスト等で技能面での力は、磨いてきている。さらに良くするには、発声練習を大切にしていきたい。	よく鑑賞している。音楽を感じ取り、理解する力はある。できるだけ時間をとり、丁寧に鑑賞させたい。
提出物は遅れずきちんと提出するが、内容がもう少し充実するとよいので、表現の指導をする必要がある。毎回の授業を大切にすることを育てる必要がある。				
【改善策】授業をやって、楽しかったと思えるような雰囲気作りを心がけていきたい。基礎力を付けられるよう丁寧に指導していくことを心がける。			【補充・発展指導】人前での発表を恥ずかしがる生徒が多いが自信がつけばできると思うので自信のつく指導を心がける。	

美術 内容および観点別の分析				
観点	美術への 関心・意欲・態度	発想や構成の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
到達度	満足できる	やや満足できる	やや満足できる	ほぼ満足できる
課題点	集中力があいまじめに努力する。努力の方法を個人個人で模索できるとさらによい。	自分の表現したいことを色や形でどのように表そうとできるかを試行錯誤できるとよい。	丁寧で技術的な面は満足できる。道具や材料から創造と工夫を生み出せるともっと良い。	さまざまな視点の存在を認識し、作品の見方を深めながら自分なりの意味や価値を作り出そうとしている。
<p>こだわりをもつことは、大事であるし、素晴らしいことだ。しかし、多くの時間をかければ、よいという問題でもない。限られた授業時間の中で、いかに多くのテーマ、素材や道具に取り組みながら、自分を色や形で表現していくかが課題だ。</p>				
<p>【改善策】時間をかけ、丁寧に作品を作り上げようとこだわる生徒が多い反面、限られた時間で各自が納得できるように取り組むことができるかは、アイデアスケッチや下絵の段階で家庭学習でも取り組ませていくことが必要だろう。まずは、2・3年で2学期からやっつけていこうと思う。</p>			<p>【補充・発展指導】 自分が表現したい世界を、言語活動で補充させていくことを大切にす。 また、友人の作品を時あるごとに紹介し、刺激を促す。</p>	

保健体育 内容および観点別の分析				
観点	運動や健康・安全の 関心・意欲・態度	運動や健康・安全に ついての思考・判断	運動の技能	運動や健康・安全に ついての知識・理解
到達度	十分に満足できる	やや不十分である	ほぼ満足である	ほぼ満足である
課題点	個人差は多少あるが、意欲的に取り組んでいる。	与えられた時間の中で、自らやるべきことを判断し、実践する能力にはややかける。	個人競技では能力を発揮できている。しかし、集団競技では不十分である。	繰り返しの学習や反復実践により、健康や運動の基礎知識の定着を図る必要がある。
<p>どの学年も、関心・意欲・態度について、十分満足している。上級学年になるに従ってその達成度は高まっている。しかし、主導で何かを行うことやチームの戦術等を応用する力の向上には、まだまだ改善する余地がある。中学校入学時は体力・技能の格差が大きく、水泳その他の種目において個人指導の充実を図る必要がある。</p>				
<p>【改善策】 ・種目によっては、一人ひとりに「学習カード」を使用し課題を明確にさせ、自己の成長を確認できるように支援していく。 ・特別支援の必要な生徒について、外部機関との連携やピアティーチャーとの連携による指導の充実を図る。</p>			<p>【補充・発展指導】 ・夏季休業日中に水泳の補習授業を実践する。 ・スクールカウンセラーに授業観察をしてもらい、必要ならば援助をお願いする。</p>	

技術・家庭科 内容および観点別の分析

観点	生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術に についての知識・理解
到達度	ほぼ満足できる	やや不十分	ほぼ満足できる	ほぼ満足できる
課題点	これからの生活を見 通し、よりよい生活を 創造するために、意欲 的に取り組んでいる。	学んだ知識や技術を 実際の生活の中で、積 極的に生かすことが できるように、指導し ていきたい。	ものづくりなどの体 験から、技術を習得し それを実生活に生か す楽しさや充実感を 感じさせたい。	実践的・体験的な学習 を通して、自立した生 活に必要な基本的な 知識が身につくよう に指導していく。
<p>授業を楽しんでいると感じ、作業に集中して取り組んでいるが、もう少し作業の時間がほしいと感じている生徒もいるので、一人一人の進度に気を配り、声かけを心がけ、様々な工夫をしていく。常に安全な作業ができるよう、環境を整え十分計画を練って、授業を進めていく。</p>				
<p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実生活と結びついた知識や技術を習得することで、自分自身の生活に意欲的に生かそうとする態度を育てていきたい。 ・「できるようになった」と一人一人が実感できるような実習ができるよう、これからも工夫していく。 			<p>【補充・発展指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の家庭にもご協力をいただき、お手伝いレポート等、自分のしたことが、家族の役に立っている実感をもたせていく。 	